

取組事例

1 市町村の事例

(2) 子育て・青少年教育に関すること

事業名 [PTAリーダー及び家庭教育学級関係者研修会]

目的

保護者のもっとも身近な社会教育団体であるPTAの活動についてもう一度考え、またその活動の中で家庭教育学級を実施することの大切さを第1回ではワークショップを交えながら学び、第2回では今年度の活動を振り返り、次年度へ向け課題、改善策を情報交換を交えながら考える機会とする。

実施主体

新潟市教育委員会 生涯学習センター

参加対象

市内全小中特別支援学校教諭、PTA役員、PTA文化教養部員、家庭教育学級担当者等

参加者数

第1回：108名 第2回：23名

回数

2回（ただし第1回は同じ内容を4会場計5回実施

日数

5日（第1回：4日、第2回：1日）

時間

15時間15分

場所

生涯学習センター、新津地区公民館、黒埼市民会館、亀田市民会館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月27日（金） 5月31日（火） （9:30～12:00、 18:30～21:00） 6月2日（木） （9:30～12:00） ※同じ内容を4会場 で計5回実施。	前半：（講義）「PTA とはなにか」「家庭教育学級の必要性」 後半：（グループワーク）「家庭教育学級のプログラムを立ててみよう」	新潟県子ども会連絡協議会 事務局長 反町 幸男 様
	内容・方法	（前半）PTA活動の中での家庭教育の学習の必要性を学ぶ。 （後半）前半の講義を踏まえた実習として、実際に各PTAで活用できるプログラム作りをワークショップを通じて体験し、家庭教育学級を企画・運営する方法を学ぶ。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	平成24年2月18日（土）	「今年度の家庭教育学級の振り返りと新たな取組を考える」	新潟県子ども会連絡協議会 事務局長 反町 幸男 様
内容・方法	（前半）講義：家庭教育学級のあり方についての確認と今年度のPTA家庭教育学級実施報告についての講師からの総評。 （後半）グループワーク：家庭教育学級の問題点とその改善策の検討、初めて実施する場合の留意点など、参加者同士で家庭教育学級に関して抱えている疑問点や問題点を出し合い、解決方法などを話し合う。また、実践例（報告集）などの情報交換を行うとともに新年度への継続実施について話し合う。		

成果

- ・先回中央区のみで実施していたものを、4区で実施したことにより、其々の地域の方から参加していただけた。
- ・家庭教育学級の必要性について学び、また家庭教育学級のプログラム作成を実際に行うことで、PTA活動に役立ち、また家庭教育学級の啓発に繋がったと考える。
- ・他学校との情報交換の機会となった。

課題

- ・より多くの学校教諭に研修会に参加してもらえるよう働きかけたい。

問合せ先

新潟市教育委員会 生涯学習センター 学習支援係（担当 佐藤 久美子）TEL：025-224-2088

事業名 [学校出前講座]

目的

児童虐待については、予防・早期発見・早期対応・再発防止が重要である。そこで虐待の発見に極めて重要な役割を果たしている教職員の気づき、子どもや家族への支援について理解を深める。

実施主体

長岡市教育委員会 子育て支援部 子ども家庭課 子ども家庭センター

参加対象

小・中学校の教職員

参加者数

410人

回数

33回

日数

33日

時間

1回90分

場所

市内各小中学校

内容

市内小中学校に出向き、研修会（出前講座）をNPO法人に委託し協働実施する。

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月30日（月） ～12月5日（月） の各学校が希望した日時	児童虐待防止研修	NPO法人「子どもの虐待防止ネット・にいがた」代表 草間 真由美様 及び、長岡市要保護児童対策地域協議会事務局職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人「子どもの虐待防止ネット・にいがた」が児童虐待の基礎知識について講話 ・要保護児童対策地域協議会の職員が通告（相談）窓口の周知や、通告（相談）からの支援の流れについて説明 ・質疑・応答 	

成果

・教職員に要保護児童対策協議会の周知ができた。リーフレットを配布したことに虐待の早期発見と連携の重要性の周知ができた。

課題

・平成20年度から実施し、今年度で長岡市内の全小・中学校を回り終えたが今後教職員の人事異動もあるので、数年後に再度実施したいと思う。

問合せ先

長岡市子ども家庭センター 要保護児童対策地域協議会事務局 TEL：0258-36-3790

事業名

〔 ストレスマネジメント講座（未就園児の保育有） 〕

目的

核家族化や父親の育児参加が困難等により育児の悩みや心配ごとが相談できない、育児の援助を受けることができない環境の子育ては、ストレスが生じやすい。虐待の発生要因のひとつである育児ストレスの上手なつきあい方を伝え、虐待防止を図る。

実施主体

長岡市教育委員会 子育て支援部 子ども家庭課 子ども家庭センター

参加対象

就学前・就学後の子を持つ保護者

参加者数

延べ149名

回数

6回

日数

6日

時間

9時間

場所

長岡市子ども家庭センター 2階（保育 1階）

内容

「わたし流」「あなた流」ストレス対策 人間関係にまつわるストレスを自分の気質や相手の気質を理解することで、ストレスの軽減をはかる。

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月23日（木） 10：00～11：30 9月16日（金） 13：30～15：00	「知ろうよ！こどものタイプ」	講師：ヘルスカウンセリング学会認定講師 南雲陽子 様（ソーシャルスキルトレーナー・ヘルスカウンセラー）
	内容・方法	講師の講義及び、チェックシートを用いて自分の気質や相手（子ども）の気質を知り対応学んだ。	
2	7月14日（木） 10月14日（金）	「聞こうよ！こどものはなし」	同上
	内容・方法	講師の講義及び、ペアで話の聞き方の実習をした。	
3	8月11日（木） 11月25日（金）	「伝えよう！親の気持ち」	同上
	内容・方法	講師の講義及び、ペアで親の気持ちをどのように伝えていくかを実習した。	

成果

- ・セルフケアの方法が学べた。ストレス軽減に役立った。

課題

- ・実習の時間が少なかったため、来年度は実習時間を多く取りたい。

問合せ先

長岡市子ども家庭課 子ども家庭センター 家庭児童相談室 TEL：0258-39-7867

事業名 [チャレンジキッズ 新春 豊浦ふるさとジャンボかるた大会&小正月まつり]

目的 公民館こども交流体験事業（チャレンジキッズ）の一環で、豊浦地区の歴史、文化、風土をもとに作成されたかるたを使用して、当地区の小学生に楽しく学んでもらう。また、お正月の風物詩である餅つきを体験してもらう。

実施主体 豊浦地区公民館

参加対象 豊浦地区の小学生以下の子どもとその家族 **参加者数** おおよそ60名

回数 1回 **日数** 1日 **時間** 2.5時間

場所 豊浦地区公民館 大ホール

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	1月28日（土） 午前9時30分～ 12時まで	かるた遊びを通じて、豊浦地区の歴史、文化等を小学生に楽しく学んでもらい、また、お正月ならではの餅つきを体験してもらう。	・田村光雄 様（ふるさとかるた原作者） ・豊浦地区食育ボランティアグループ
	内容・方法	<p>◎豊浦ふるさとジャンボかるた大会 豊浦地区の小学生対象（なお、兄妹一緒であれば、保育園児も参加可能）にして、かるた大会をおこなう。その際に、ふるさとかるたの原作者である田村光雄先生から、かるたを使用して、豊浦地区の歴史等のお話をしてもらう。 かるた大会では、保育園児、小学生の上・中・下学年でスタートラインを分けて、かるた取りをおこなう。 また、実際に取るかるたが分かるように、かるたの映像をプロジェクターで写してから、一斉にスタートをして、かるたを取る。残り10枚になったら、じゃんけん方式によりかるたを取る。田村光雄先生とじゃんけんをして、勝ち残った参加者1名がかるたをもらう。残り5枚になったら、かるた当て方式によりかるたを取る。かるた5枚を裏返しにして、当たりかるたを参加者に選んでもらう。最後まで残った参加者1名がかるたをもらう。かるた大会は、チーム戦でおこない、勝ったチームが景品をもらう。負けたチームは参加賞をもらう。また、個人で1番多くかるたを取った参加者は1等賞の賞品をもらう。</p> <p>◎小正月まつり かるた大会終了後、参加者およびその家族でもちつき大会をおこなう。参加者に餅つきを体験してもらう。お餅は雑煮、あんこ、きなこで試食をしてもらい、甘酒コーナーも設置する。</p>	

成果 ・かるた遊びを通じて小学生に豊浦の歴史、文化を学んでもらう。またお正月の風物詩であるお餅つきを体験してもらい、様々なお餅を食すことで、日本のお正月（お餅）の文化を学んでもらう。

課題 ・参加者の確保が課題である。学校を通じてチラシを配布しているが、学校への働きかけ、小学生、保護者個人への働きかけも必要。また、企画、景品等を充実させることも参加者確保のためには必要不可欠である。

問合せ先 新発田市 教育委員会 豊浦地区公民館（担当：片桐 拓未） TEL 0254-22-2081

事業名 [小学生国際理解教育事業 「夏休みにALTとあそぼう♪」]

目的 国際理解教育の一環として、夏休み期間を利用し、日常とは異なる環境の下で、異年齢間交流を図りながら英語及び異文化に親しむ。

実施主体 新発田市教育委員会

参加対象 市内小学生 **参加者数** 272名

回数 1回 **日数** 3日 **時間** 計19時間

場所 新発田市地域交流センター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月9日(火) 8月11日(木) 9:00～15:30	英語を使ったゲームや歌などで英語を楽しく学ぶ。	新発田市ALT5名
	内容・方法	<p>【内容】全学年合同レッスンでは英語を使ったゲームや歌などで、英語を楽しく学んだ。学年別レッスンでは、学年別の能力に応じた英会話や英単語を用いた学習を行った。</p> <p>【対象】小学1年生～4年生</p> <p>【参加者数】2日間合計243名</p>	
2	8月10日(水) 9:30～15:30	外国の食文化や生活習慣を学び、異文化に親しむ。	新発田市ALT5名
	内容・方法	<p>【内容】外国の料理を英語のレシピで作ったり、各国の民族衣装やゲームを体験し、世界の文化に親しんだ。</p> <p>【対象】小学5,6年生</p> <p>【参加者数】29名</p>	

成果

- ・異年齢間交流や他学校生徒との親睦を図ることができた。また、事業後のアンケートでは、「時間が短かった」、「もっと勉強したかった」との意見が多数あり、学習意欲の向上が見られた。

課題

- ・募集人数を上回る参加申込みがあり、人員体制に課題が残った。ALTや大学生ボランティアと綿密な打ち合わせを行い、意思疎通を図る必要があると感じた。

問合せ先 新発田市教育委員会 生涯学習課社会教育係(担当:水戸部 友佳) TEL:0254-22-9534

事業名 [親子レクリエーション館]

目的 親子での体験学習などいろいろな遊びをしながら、親と子のコミュニケーション不足を補い、子どもたちの本来持っている感性や好奇心を育む。

実施主体 糸魚川市教育委員会生涯学習課

参加対象 小学3年生までの子どもとその保護者 **参加者数** 延べ186名

回数 5回 **日数** 5日 **時間** 毎回約4時間

場所 大和川森林公園、海谷溪谷三峡パークなど

内容 ほかに「親子で作ろう、遊ぼう」(5月5日開催)「雪で遊ぼう」(1月21日開催予定)

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月9日(日) 10:30~13:00	みんなおいでよ! 森林公園祭	大和川森林公園 岩崎 茂 様 レクリエーションコーディネーター 吉原久美子 様
	内容 方法	大和川地区が行う森林公園祭に参加の予定だったが朝の天候が悪く中止。単独できのこ菌打ちや池での魚つりを行った。	
2	7月11日(日) 9:30~13:30	自然を歩こう! 三峡パーク	大和川森林公園 岩崎 茂 様 レクリエーションコーディネーター 吉原久美子 様
	内容 方法	ジオサイトの1つでもある海谷溪谷やブナ林を散策。聴診器でブナなどの樹の鼓動を聞いた。自分の樹を探したりするネイチャーゲームを楽しんだ。	
3	10月23日(日) 10:00~12:30	森林公園きのこ収穫祭	大和川森林公園 岩崎 茂 様 レクリエーションコーディネーター 吉原久美子 様
	内容 方法	森林公園で栽培しているきのこを収穫し、きのこ汁を作った。天候が悪かったため、午後レクリエーションをやめてお昼を食べた後解散した。	

成果

- ・体験学習を通しての親子のふれあいはもちろん、身近な場所での事業開催から、若い保護者が郷土を見直すきっかけ作りにもなっている。また、以前参加者であった高学年の小学生や中学生に、今度はボランティアとして参加してもらい、小さい子どもたちの世話をすることで年齢の離れた子ども同士のつながりを作り、ジュニアリーダーとしての自覚なども促すことができた。

課題

- ・子どもの事業は休日に学校や地区PTAなどでも実施されているので日程調整が難しく、特に親子参加型は保護者の都合もあるので思うように参加者が集まらないことが多々ある。また、活動に参加してくる保護者が固定化されている感もある。

問合せ先 糸魚川市教育委員会生涯学習課 (担当: 古平真由美) TEL: 025-552-1511

事業名 [お正月公民館まつり]

目的 大人と子どもがふれあいながら一緒に楽しんでもらう。

実施主体 主催－聖籠町 共催－聖籠町青少年健全育成町民会議/聖籠町婦人団体連絡協議会

参加対象 幼児～大人まで **参加者数** 207名

回数 毎年1回 **日数** 1日 **時間** 6時間

場所 聖籠町町民会館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	1月8日 9時～2時30分	近年ではふれる機会の少なくなった餅つきやお正月ならではの昔なつかしい遊びを、大人と子どもがふれあいながら一緒に楽しんでもらう。	町内在住者
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none">・町民会館に昔ながらの長屋を建てお笑い神社や鳥居、だんご木を配し、昔の街並みを再現します。・昔の遊び（こま・竹トンボ・お手玉作り、折り紙、すごろく、かるた、メンコ、コマまわし、羽根つきカルメ焼きづくり等）を町内の年配者から教えてもらう。・町指定文化財の蓮瀉神楽を見てもらい、もちつきを体験し、だんご木にだんごを差しってもらう。・公民館で今年度作成した聖籠弁の大かるたを使い、体育館で東西に分かれて大かるた大会を行う。	

成果 ・町内の子どもと年配者の交流。今ではあまり遊ばなくなった遊びを体験してもらうことができた。

課題 ・大きなものはなし。

問合せ先 聖籠町町民会館（担当：石田守之）0254-27-2121

事業名 [夏休み青少年研修]

目的 地域でリーダーとして活動できる青少年の育成を図り、世代間交流を推進する。

実施主体 田上町公民館

参加対象 町内在住の小学5年生～中学3年生 **参加者数** 48名

回数 1回 **日数** 2泊3日 **時間** 計20時間

場所 妙高市 国立妙高青少年自然の家

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月20日（土） 13:00～17:30 19:00～20:30	「友」～お互いの良いところをみつけよう～	社会教育指導員、公民館職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスプレイング…グループ内で顔と名前を覚え、意思の疎通を図る。 ・源流探検 …源流を歩きながら水の中の生物を見つける。観察力を養う。 ・オリエンテーリング…森の中で地図を頼りにグループ単位で、ポイントをクリアする。 ・ナイトハイク …夜の森に入り、虫の声を聞く。 ・グループワーク …1日目を振り返り、2日目の課題を確認し、役割分担を決める。 	
2	8月21日（日） 9:00～16:30 19:00～20:30	「友」～お互いの良いところをみつけよう～	妙高アドベンチャーは専属講師、その他は社会教育指導員、公民館職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・妙高アドベンチャープログラム…グループごとに分かれて課題解決の方法や自主性、協調性の大事さなどを学ぶ。 ・グループワーク…2日目の振り返り、3日目の作業分担の確認など。 	
3	8月22日（月） 9:30～13:00 13:30～15:00	「友」～お互いの良いところをみつけよう～	社会教育指導員、公民館職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・外飯作り…グループ内で決めた役割分担に従い、お互いに協力し助け合いながらカレーライスを完成させる。最後は全員でおいしくいただく。 ・3日間の総括…3日間の行動を振り返り、気持ちや考え方の変化を確認する。テーマ（目標）を達成できたか検証し、今後の学校生活に活かせるよう報告書にまとめる。 	

成果 ・自主性や協調性が育まれた。初めての人と意思の疎通を図ったり、一緒に話し合い作業をすることができるようになった。

課題 ・高校生や大学生から運営スタッフとして参加してもらっているが、その人材確保。

問合せ先 ・田上町公民館（担当：大平哲也）電話0256-57-3114

事業名

〔小学生のための 夏休み「あつまれ！おんがくひろば」〕

目的

- ・子供たちの歌声がひびく町にする。
- ・夏休みの思い出、友達作りの場とする。
- ・町の指導者が手を取りあい、町の文化の「芽」を育み、活性化に貢献する。

実施主体

夏休み「あつまれ！おんがくひろば」実行委員

参加対象

町内小学生

参加者数

12名

回数

5回

日数

夏休み期間

時間

2時間

場所

湯沢町公民館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月29日(金) 午前9:30～ 11:30	わらべ歌であそぼう	社会教育指導員 林 富子
	内容・方法	はじめの会 - 自己紹介 わらべ歌 - 「ずいずいずっころばし・チクタクボンボン・どんぐりころころ」 みんなで交流をしながら、楽しくわらべ歌であそぶ。 ドレミパイプー1人1本の音をもってみんなで「ちゅうりっぷ・キラキラ星」などの かんたんな曲を演奏する。 音を交換しているいろいろ体験する。	
2	8月5日(金) 午前9:30～ 11:30	手づくり楽器(ボロンボーン)を作ろう	ピアノ講師 高橋 明美 様 林 富子
	内容・方法	リサイクル楽器 ボロンボーンを家にある材料をもってきて楽器を作る。 材料ーサランラップの芯・ビニールテープ・ペットボトル・飾り用の色紙やマジック できた楽器で「幸せならボロンボーンならそう」を演奏(?)	
3	8月12日(金) 午前9:30～ 11:30	ボディパーカッションと歌 歌「雲に乗ろう」	高橋 明美 様 林 富子
	内容・方法	「雲に乗ろう」を歌う 1. 2回目から歌を聞いてきている。 歌詞をみんなで声を出して読む。 フレーズ毎に少しずつ歌う。 発声や言葉の発音、まとまり、記号などを確認しながら楽しく歌う。 ボディパーカッション まねっこリズムー先生のリズムをまねてうつ。 ボディパーカッションー4つのグループに分けて A. ひざの両手打ち B. 手拍子 C. 足踏みA D. 足踏みB それぞれのリズム打ちをする。 グループごとにリズムを入れ、最後にエンディングを入れる。 グループごとにリズムを打てるようになった。	

事業名

〔かりわっ子クラブ活動事業〕

目的

夏休み期間中、各地区集会場を利用し、仲間づくりや体験活動を通して豊かな心を養う。

実施主体

刈羽村教育委員会

参加対象

刈羽小学校児童(1～3年生)の希望者

参加者数

83名

回数

8回

日数

8日

時間

9:00～11:30

場所

各地区集会場(4か所)、刈羽村生涯学習センター 及び ひだまりの里

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月26日 9:30～11:30	開校式	地区コミュニティアドバイザー
	内容・方法	刈羽村生涯学習センター「ラピカ」に参加者全員集合し、レクリエーションを行った(桃太郎じゃんけん、トーチリレー)。	
2	7月29日 9:00～11:30	はり絵をつくろう	地区コミュニティアドバイザー
	内容・方法	各地区集会場に集合。折り紙を使って絵を作成。	
3	8月2日 9:00～11:30	アイロンビーズで遊ぼう	地区コミュニティアドバイザー
	内容・方法	各地区集会場に集合。アイロンビーズでコースターやアクセサリを作成した。	
4	8月4日 9:15～13:30	油田古民家「ひだまりの里」を探検しよう	地区コミュニティアドバイザー、教育委員会
	内容・方法	映画「キャタピラー」のロケ地になった「ひだまりの里」を訪問。虫取りや裏山探索を行い、昼食には「油田はさ掛け米」で作ったおにぎりをいただいた。	
5	8月9日 9:00～11:30	バルーンを使って遊ぼう	地区コミュニティアドバイザー
	内容・方法	各地区集会場に集合。ペンシルバルーンで犬や花などを作った。家族へのプレゼントとして持ち帰った。	
6	8月11日 9:00～11:30	割り箸鉄砲をつくろう	地区コミュニティアドバイザー
	内容・方法	各地区集会場に集合。割り箸とゴムで鉄砲を作成した。手作りの的に向かって射撃を行った。	
7	8月18日 9:00～11:30	思い出に残った絵を描こう	地区コミュニティアドバイザー
	内容・方法	各地区集会場に集合。夏休みの思い出を絵で表現した。	
8	8月23日 9:30～11:30	閉校式(刈羽村生涯学習センター「ラピカ」)	地区コミュニティアドバイザー
	内容・方法	刈羽村生涯学習センター「ラピカ」に参加者全員集合し、レクリエーションを行った(ビンゴゲーム、じゃんけんリレー)。	

成果

- 子どもはいつも楽しそうに、時には真剣に活動を行っていた。ご家族にも好評をいただいている。

課題

- 地区ごとに参加者数の偏りがある。村の中心地区は参加者数が多く、他地区は少子化が顕著に見られる。

問合せ先

刈羽村教育委員会教育課 TEL: 0257-45-3933



いきいき県民カレッジ

いつでも、どこでも、自分の希望する講座を

どなたでも

小さいお子さんから、お年寄りまでどなたでも

いつからでも

期限はありませんので、ご自分のペースで受講、申請できます。

県や市町村、大学・短期大学、高等学校、専門学校・各種学校等さまざまな機関が実施している講座が登録されています。

県内に在住、在勤している方であれば、**どなたでも受講できます。**

単位を貯めて、申請すると希望により、貯まった単位に応じて**学長（県知事）から奨励証が交付されます。**50単位で取得できる「チューリップ賞」から500単位で取得できる「学長賞」の、6つの賞があります。

期限はありませんので、ご自分のペースで受講、申請できます。あなたの充実した生涯学習にお役立てください。